

(3) 自殺についての意見

自殺に関する意識は、「絶対にすべきではない」と答えた人は、全体で約5割である。しかし、こころの健康に不安を感じている人ほど「自殺はすべきではないが、事情によってはやむをえないこともあると思う」と回答している割合が多くなっている。また、7%が「自殺は個人の問題であり、自由だと思う」と回答している。

自殺は大半の人が予防可能と答えているが、健康でない人は予防不可能と考える人が多くなっている。身近な人から「死にたい」と打ち明けられたときの対応は、『「なぜそのように考えるのか」と理由を尋ねる』と「ひたすら耳を傾けて聞く」が上位となっている。

自殺を防ぐ対策としては、「いのちの教育」の充実、「景気の回復」、「精神科医等の専門医への受診しやすい環境づくり」などが多い。男女とも20歳代では「景気の回復」で、60歳代では「高齢者の孤立を防ぐ対策」が多い。

